

民主化闘争情報

No. 878

2013年6月17日

発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

民主化3単組揃って拡大。今月に入って、JR北労組が2名、東日本ユニオンが1名、貨物鉄産労が1名がそれぞれ加入し、JR連合第22回定期大会に花を添えた。

北労組では自動車支部で！ 東日本ユニオンでは助役が！ 貨物鉄産労では青年が加入！！

会社が一向に労政転換の姿勢を見せない厳しい組織環境の中で、JR北労組・東日本ユニオン・貨物鉄産労の民主化三単組は、日夜組織拡大の取り組みを進めてきたが、JR北労組自動車支部で2名が加入（6月1日付）、JR東日本ユニオン仙台地本で助役がJR東労組を脱退し加入（6月15日付）、また貨物鉄産労東海地区本部では23才の青年が日貨労を脱退し加入した（6月17日付）。

JR北労組は「社員間の親睦を図ることは、業務をしっかりと行い、安全を確保する上でも大切なこと」を合言葉に、日頃の世話役活動を中心に組織拡大の取り組みを行ってきたが、第21回定期大会以降、自動車支部では合計12名の組織拡大となる。

JR東日本ユニオンは、浦和電車区事件以降、JR東労組「かんり部会」組合員に対して、車の両輪に相応しいパートナーはどちらか、そして本来あるべき管理者像を訴えてきた。「JR東労組の運動、活動に最近特に違和感を覚え、残されたJR人生を考えて仕事に取り組みたい」と加入した動機を述べている。

また、加入拡大が続く貨物鉄産労では、岐阜ターミナル駅勤務の23歳の青年が日貨労を脱退し、加入した。貨物鉄産労は、第21回定期大会以降、11名の組織拡大を達成したことになる。

JR東日本グループ会社で 「日本レストランエンタプライズユニオン」を結成！

一方、既報の通りだが、5月22日、長野地区において、非正規労働者を中心とする、JR東日本グループでJR連合初となる「日本レストランエンタプライズユニオン」が結成された。不払い残業など法令違反も散見され、労働環境・条件の改善に組合員以外からも多くの期待が寄せられている。

JR総連は浦和電車区事件裁判に完全敗訴し、もはや求心力を失い彷徨っている。一気果敢に攻め込み、更なる組織拡大を果たす時だ！！

JR連合10万人組織にむけ、更なる飛躍を果たそう！